

福祉サービス第三者評価結果報告書  
【児童福祉分野（保育所）】

【受審施設・事業所情報】

|            |                                                                                       |          |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 事業所名称      | 箕面ポッポ保育園                                                                              |          |
| 運営法人名称     | 株式会社ベル企画                                                                              |          |
| 福祉サービスの種別  | 保育所                                                                                   |          |
| 代表者氏名      | 園長 平野 尚子                                                                              |          |
| 定員（利用人数）   | 36 名（34 名）                                                                            |          |
| 事業所所在地     | 〒 562-0041<br>大阪府箕面市桜4-18-14 メゾンアーデンⅢ                                                 |          |
| 電話番号       | 072 - 722 - 5756                                                                      |          |
| FAX 番号     | 072 - 722 - 5756                                                                      |          |
| ホームページアドレス | <a href="http://www.poppo-hoikuen.com/group/">http://www.poppo-hoikuen.com/group/</a> |          |
| 電子メールアドレス  | —                                                                                     |          |
| 事業開始年月日    | 平成 27 年 4 月 1 日                                                                       |          |
| 職員・従業員数※   | 正規 7 名                                                                                | 非正規 11 名 |
| 専門職員※      | 保育士 15 名 栄養士 1 名                                                                      |          |
| 施設・設備の概要※  | [居室]                                                                                  |          |
|            | [設備等]<br>保育室 3（0歳児、1歳児、2歳児 各 1）<br>調理室 1<br>幼児用便所 1 車いす対応便所 1<br>医務室兼事務所 1            |          |

※印の項目については、定義等を最終頁に記載しています。

【第三者評価の受審状況】

|               |      |
|---------------|------|
| 受 審 回 数       | — 回  |
| 前 回 の 受 審 時 期 | — 年度 |

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 評価結果公表に関する<br>事業所の同意の有無 | 有 |
|-------------------------|---|

### 【理念・基本方針】

- ・ 保育理念 「子ども一人ひとりの豊かな心と体の成長」を目指します
- ・ 保育方針 基本的な生活習慣を身につける  
好きな遊びを十分に楽しみ遊びを通して友達と関わることを楽しむ  
安心できる保育士との関わりの中で自分の欲求や感じたことを素直に表現する。
- ・ 保育目標 「意欲が旺盛な子」「思いやりがある子」「判断力のある子」  
「丈夫な子」

### 【施設・事業所の特徴的な取組】

- ・ 園長以下経験豊富な有資格保育士による安全保育を目指している。
- ・ 栄養士と調理師と食材業者との連携による栄養豊富な給食とおやつを提供している。
- ・ 園庭がないため園長・職員が近隣公園の雑草抜きや清掃などを行い、安全な園外保育の実現を目指している。

### 【評価機関情報】

|           |                                                               |
|-----------|---------------------------------------------------------------|
| 第三者評価機関名  | 特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ                                    |
| 大阪府認証番号   | 270012                                                        |
| 評価実施期間    | 令和元年8月2日～令和2年3月2日                                             |
| 評価決定年月日   | 令和2年3月2日                                                      |
| 評価調査者（役割） | 1801C018（運営管理委員）<br>1401C047（運営管理・専門職委員）<br>（ ）<br>（ ）<br>（ ） |

## 【総評】

### ◆評価機関総合コメント

・箕面ポップ保育園（当園）は、箕面市内他所で昭和56年4月に開設された無認可保育園「箕面ポップ保育園」が、平成27年4月に認可保育園の指定を受け、現在地に移転して開設された。

・株式会社ベル企画（当法人）の代表者は、昭和56年より当園に保育士として携わり、現時点で大阪府内に当園ほか9保育園を運営している。（吹田市6園、箕面市、大阪市、摂津市、高槻市各1園）また当法人は「ポップ保育園」のフランチャイズを推進し、近畿一円で20を超える保育園が加盟している。

・当園は、子育て支援に力を入れている箕面市役所に近い私鉄沿線沿いのモダンな4階建て低層マンションの1階にあり、近くには桜で有名な通りがある。緑豊かな山並みが見える風光明媚なところにある。

・当園は「まごころ保育」で心身共にすこやかな子どもを育てるため、保育所保育指針の発達過程を大切にしながら、保護者との連携を密にして保育を進めている。

### ◆特に評価の高い点

・当園内における保育に関わる問題や解決すべき課題は、職員会議で討議され対策を講じ職員間で共有されて改善策が実施されている。

・障がいのある子どもや外国籍の子どもなど、すべての園児に個々の子どもに寄り添った保育の個別対応を実施している。

・当園の専有面積にゆとりはないが職員の休憩場所（事務所内）を確保していることは、職員がリフレッシュでき次の保育業務につながっている。

・保育園と建物の所有者（大家）との関係が良好であり、他の居住者とも良い関係で、保育園に対する苦情等がない。

・法人との関係も良く、職員採用や研修等に積極的に参画されている。

### ◆改善を求められる点

・経験豊富な保育士でも新入職の保育士でも保育業務や作業を同じ方法で行える手順書、フローチャートなどのマニュアルの整備が十分ではない。

・施設内での専有面積に限りがあり収納スペースが少ないとはいえ玄関ホール付近や通路にラックや備品などが雑然と置かれている。園児や職員の安心安全の確保のため日常的に整理整頓に心掛けることが求められる。

### ◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

認可保育園となって5年目に当たる今年度、第三者評価を受審することになりました。初めて受審して、分からないことばかりだったのですが、園長の頑張りもあり無事に受審することが出来ました。

会社として、整備しないといけないこともあります。次年度に向けて出来る限りの整備をしていきたいと思っています。

今後もポップ保育園では、まごころ保育をモットーに地域に密着した保育を提供していきます。

### ◆第三者評価結果

・別紙「第三者評価結果」を参照

## 第三者評価結果

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

|                             |                                                                                                                                                                                                                       | 評価結果 |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| Ⅰ-1 理念・基本方針                 |                                                                                                                                                                                                                       |      |
| Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 |                                                                                                                                                                                                                       |      |
| 1                           | Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。                                                                                                                                                                                     | a    |
|                             | (コメント) <ul style="list-style-type: none"> <li>・当園の保育理念・保育方針・保育目標はパンフレット、法人のホームページにわかりやすい言葉や表現で記載されている。</li> <li>・園長は入園説明会で保護者に対して保育理念・保育方針・保育目標を説明して理解を図っている。</li> <li>・法人は新入職者に対してはグループ合同の入職時研修で周知を図っている。</li> </ul> |      |

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                 | 評価結果 |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| Ⅰ-2 経営状況の把握                 |                                                                                                                                                                                                                                                 |      |
| Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 |                                                                                                                                                                                                                                                 |      |
| 2                           | Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。                                                                                                                                                                                                       | b    |
|                             | (コメント) <ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は、年4回開催される市内の民間保育園連絡会で市担当者より市の子育て支援の方針や保育支援希望者の状況や予測を聞いて把握して、法人本部にも報告をしている。</li> <li>・法人本部で担っている保育費用等の経営分析や園の児童の利用数や保護者の状況や動向対策についても報告だけでなく、園長は園として把握されることを望む。</li> </ul>                      |      |
| 3                           | Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。                                                                                                                                                                                                             | b    |
|                             | (コメント) <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人本部では毎月グループ内全園長会議が開催され、園長は園内で解決できない課題や問題点を本部と協議して改善を図っている。</li> <li>・園長は、園の保育環境や保育内容などの課題については毎月の職員会議で議題に挙げて職員全員で話し合い、対策を講じている。職員会議で園長会議の内容や決定事項を報告して職員に周知している、さらにこの体制を充実されるように期待する。</li> </ul> |      |

|                                 |                                                                                                                                                                                                                   | 評価結果 |
|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| Ⅰ-3 事業計画の策定                     |                                                                                                                                                                                                                   |      |
| Ⅰ-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 |                                                                                                                                                                                                                   |      |
| 4                               | Ⅰ-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。                                                                                                                                                                             | c    |
|                                 | (コメント) <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の中・長期的な事業計画は開園目標の数値的なものだけでなく、具体的内容が表されるように、園長も園の目標や計画は思いだけでなく文書化されたものを望む。</li> <li>・園長は、園の将来を見据えた具体的な中・長期の目標やビジョンを職員と話し合い、先ず3年間の園としての中期計画を策定されることを望む。</li> </ul> |      |

|                          |           |                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|--------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 5                        | I-3-(1)-② | 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。                                                                                                                                                                                                                                     | c |
|                          | (コメント)    | ・園では単年度の事業計画のみが立てられている。<br>・園長は、法人の中・長期計画に沿った園独自の中・長期計画を策定し、それを踏まえた単年度計画を策定することを望む。                                                                                                                                                                            |   |
| I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。 |           |                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 6                        | I-3-(2)-① | 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。                                                                                                                                                                                                                      | b |
|                          | (コメント)    | ・園では園長ほか正職員は毎年度末に1年の保育内容、食育、安全対策などを振り返り話し合い、園長が次年度の事業計画を策定している。<br>・園長は年度初めに年間事業計画を職員会議で職員に説明し、出席できなかった非常勤職員には伝達ファイルで周知を図っている。<br>・園長は、常に計画通りに実施されているかを確認し、職員と話し合い適宜見直しを図っている。<br>・園長は、事業計画を非常勤職員を含めた全職員と話し合うと共に計画の羅列ではなく目的や内容を詳細に説明した文章も付け加えた分かりやすい事業計画策定を望む。 |   |
| 7                        | I-3-(2)-② | 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。                                                                                                                                                                                                                                      | b |
|                          | (コメント)    | ・園では、保護者に対しては掲示板や園だよりなどでその都度周知を図っているが、さらに年度初めに事業計画全体の説明や資料配付を望む。<br>・保護者や市の担当部署などの関係機関に事業計画の資料配付をし、周知をして理解を図ることが望ましい。                                                                                                                                          |   |

|                                    |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 評価結果 |
|------------------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組        |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |
| I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |
| 8                                  | I-4-(1)-① | 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。                                                                                                                                                                                                                                                          | b    |
|                                    | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園では毎月1回業務終了後、非常勤職員を含めた職員会議を開き、その時々の課題をテーマに改善策や解決策を話し合っている。</li> <li>・急を要する課題については随時園長、主任、担任などで改善策を話し合い、事後に伝達ファイルで全職員の周知を図っている。</li> <li>・園長は、毎年1回法人指定用紙で園の自己点検と自己評価を実施して法人本部に提出して園の状況を振り返っている。今後継続した外部評価見直しも視野に入れ、更なる向上を目指されることを望む。</li> </ul> |      |
| 9                                  | I-4-(1)-② | 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。                                                                                                                                                                                                                                            | b    |
|                                    | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は、自己点検した園の課題や職員間から上がった問題点などを職員会議で話し合い改善を図っている。</li> <li>・園長、主任や担任は決定された改善策の状況を常に観察し、問題点があれば話し合い再度修正した方法で実施している。</li> <li>・園では今回の第三者評価の評価結果を受け止めて、次年度に向けて更なる改善策を図る計画である。</li> </ul>                                                           |      |

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

|                              |           |                                                                                                                                                                                                                                                                      | 評価結果 |
|------------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ           |           |                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |
| Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。     |           |                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |
| 10                           | Ⅱ-1-(1)-① | 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。                                                                                                                                                                                                                                     | a    |
|                              | (コメント)    | ・園長は、法人のホームページの中で園の保育の取り組みや自らの役割、姿勢を表明している。<br>・業務分担表に園長の役割と責任や園長不在時の補佐役を明示して職員に周知されている。<br>・災害や事故の有事の時の園長の役割と責任は危機管理マニュアルや緊急連絡網に明示されて職員に周知されている。                                                                                                                    |      |
| 11                           | Ⅱ-1-(1)-② | 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。                                                                                                                                                                                                                                         | b    |
|                              | (コメント)    | ・園長は、毎月法人本部で開催されるグループ内園長会議に参加し、保育に関する法律や遵守すべき法律の改正点などの指導をその都度受けて理解している。<br>・市の「子ども・子育て支援条例」は市の基本姿勢であるので園長や幹部職員は必ず把握することが望まれる。<br>・園長は、職員に対して虐待防止の研修や防災対策の研修を推進し、理解を深めるように促している。参加した職員が職員会議で伝達研修を行っている。<br>・園長は、正職員に対しては保育に関する法律も含んだ保育内容全般の向上を目指すキャリアアップ研修の受講を促進している。 |      |
| Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 |           |                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |
| 12                           | Ⅱ-1-(2)-① | 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。                                                                                                                                                                                                                                       | a    |
|                              | (コメント)    | ・園長は、毎年1回法人指定用紙を用いて園の自主点検、自己評価を実施して、園の置かれている状況の確認や問題点の抽出を実施している。<br>・園長は、確認、抽出した園の保育の課題を職員会議の議題として取り上げ、改善策を話し合い保育の質の向上に努めている。<br>・園長は、市などが主催する保育の研修会を積極的に利用して、職員個々の保育の力量アップを図っている。                                                                                   |      |
| 13                           | Ⅱ-1-(2)-② | 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。                                                                                                                                                                                                                                       | a    |
|                              | (コメント)    | ・園長は、職員がキャリアアップ研修や外部研修を計画的に受講し易いように配慮した勤務体制を組むように努めている。<br>・園長は、毎月職員会議を開催しその時々に関わった問題や職員の提案を議題として取り上げて解決策を話し合い、園の業務の改善の向上を図っている。                                                                                                                                     |      |

|                                       |           |                                                                                                                                                                                                                                              | 評価結果 |
|---------------------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成                        |           |                                                                                                                                                                                                                                              |      |
| Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。 |           |                                                                                                                                                                                                                                              |      |
| 14                                    | Ⅱ-2-(1)-① | 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。                                                                                                                                                                                                     | a    |
|                                       | (コメント)    | ・法人本部は、グループ全園の人員体制の状況を毎月各園長からの報告で把握し必要な人材確保のため保育専門学校・大学・短大、ハローワークなどに募集をしている。<br>・法人本部では採用した新入保育士等に採用時研修のほかに初年度は合計4回の本部研修を実施している。<br>・法人本部は採用した新入保育士等を採用時研修終了後各園に配属し、園では現場でのOJTを行って新入職員の定着を図っている。                                             |      |
| 15                                    | Ⅱ-2-(1)-② | 総合的な人事管理が行われている。                                                                                                                                                                                                                             | b    |
|                                       | (コメント)    | ・法人は賃金規定を定めて基本給のほかの通勤手当・資格手当・役職手当・キャリア手当・住宅手当・時間外勤務手当等の基準を職員に明らかにしている。<br>・法人は、毎年9～10月の間に職員に「異動願等調査票」を提出させ、本人の勤務に関する要望を把握して翌年度の全園の人員体制を決めている。<br>・法人には現在、文書化した明確なキャリアパス制度が確立されていず、検討中とのこと実現されることを期待する。                                       |      |
| Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。            |           |                                                                                                                                                                                                                                              |      |
| 16                                    | Ⅱ-2-(2)-① | 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。                                                                                                                                                                                                            | b    |
|                                       | (コメント)    | ・園長は、毎月の勤務シフトを組むに当たって職員の意向を汲み取って可能な限り沿うように配慮しているが、園では非常勤職員が半数を占めるため、先ず非常勤職員の意向を優先しているため正職員が有休を取得しやすい待遇の見直しを期待する。<br>・園内は保育室以外はゆとりのある状態ではないが、工夫をして休憩できるスペースを確保して職員がリフレッシュできるように配慮している。<br>・法人は正職員が利用できるだけであるが民間の福利厚生サービスに加入して、職員の福利厚生に配慮している。 |      |
| Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。        |           |                                                                                                                                                                                                                                              |      |
| 17                                    | Ⅱ-2-(3)-① | 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。                                                                                                                                                                                                                      | b    |
|                                       | (コメント)    | ・法人本部は、新入職員の研修を本部で年間4回実施して、法人の求める保育能力の育成と平準化を図っている。<br>・法人本部では、幹部研修としてリーダー研修、主任保育士研修、男性保育士研修を実施して幹部職員の業務能力の向上を目指している。<br>・当園では、非常勤職員を含む全職員が園の業務に対して年間目標を立て、園長が進捗状況を個別面談で確認するなどの全職員を育成する体制を進められることを期待する。                                      |      |

|                                             |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
|---------------------------------------------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 18                                          | Ⅱ-2-(3)-② | 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。                                                                                                                                                                                                                                                          | b |
|                                             | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人は、園の運営規定第2条、第5条の中で法人が職員にもとめる資格や役割を明示している。</li> <li>・法人本部では、保育経験豊かな教育担当職員を1名配置をして、グループ保育園全体の年間研修計画を立て職員の育成研修に力を入れている。</li> <li>・全園合同本部研修は年間に新入保育士研修4回、リーダー研修4回、主任保育士研修7回、男性保育士研修数回が実施されている。</li> <li>・以上の研修は正職員が対象であり、非常勤職員の研修も計画されることを希望する。</li> </ul> |   |
| 19                                          | Ⅱ-2-(3)-③ | 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。                                                                                                                                                                                                                                                                        | b |
|                                             | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園では、様々な外部研修の情報を職員に知らせている。</li> <li>・園長は、正職員の厚生労働省が定めた保育士キャリアアップ研修（学校法人、社会福祉法人等が実施）の取得あるいは受講状況を把握し、受講を推進している。</li> <li>・園長は、正職員が市や他の外部団体が主催する研修に参加できるように配慮しているが、園全体の保育の質を高めるためには非常勤職員も参加することが望ましい。</li> </ul>                                             |   |
| Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。 |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 20                                          | Ⅱ-2-(4)-① | 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。                                                                                                                                                                                                                                                      | c |
|                                             | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園では現在、実習生の研修・育成マニュアルを用意し、受け入れ体制の構築が求められる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                     |   |

|                                  |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 評価結果 |
|----------------------------------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| Ⅱ-3 運営の透明性の確保                    |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |
| Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。 |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |
| 21                               | Ⅱ-3-(1)-① | 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。                                                                                                                                                                                                                                                              | b    |
|                                  | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人のホームページに保育の理念・方針・目標や保育内容は掲載し、各保育園の役割や存在意義を法人代表者や各園長が表明している。しかし事業計画、事業報告、決算情報までは公開していない。</li> <li>・園の案内パンフレットは市の幼児保育担当窓口を設置し、入園希望者、見学者に配布している。</li> <li>・園の入園のしおりや案内パンフレットに苦情・相談体制の内容を明示していないので、入園のしおりにや案内パンフレットに掲載して保護者に周知することを望む。</li> </ul> |      |
| 22                               | Ⅱ-3-(1)-② | 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。                                                                                                                                                                                                                                                        | a    |
|                                  | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人本部が園の経理関係、設備購入・修理、給食関係の主要な取引を担い、園長は月1万円の小口金を預かり、千円を超える物品購入・設備修理については物品購入申請を本部に提出、法人代表者が承認するルールとなっている。</li> <li>・小口金の使用明細は出納帳を毎月法人本部経理担当に提出しチェックを受けている。</li> <li>・法人本部の経理・取引や決算は外部の税理士がチェックを行い、指導を受けて経営の改善をしている。</li> </ul>                    |      |

|                              |           |                                                                                                                                                                                     | 評価結果 |
|------------------------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献              |           |                                                                                                                                                                                     |      |
| Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。   |           |                                                                                                                                                                                     |      |
| 23                           | Ⅱ-4-(1)-① | 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。                                                                                                                                                          | b    |
|                              | (コメント)    | ・地域の保育に関する催しなど参考になる情報を掲示板で保護者に知らせている。<br>・園外保育の散歩コースの近隣の公園では、他の幼児と遊んだり、幼児の親の質問に答えたりして交流している。<br>・園では地域に向かって積極的な取り組みは行っていないので消防署員が来所する消防訓練実施の告知をし地域の人々に参加を呼び掛けたりして地域との交流を工夫することを望む。  |      |
| 24                           | Ⅱ-4-(1)-② | ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。                                                                                                                                                  | c    |
|                              | (コメント)    | ・園ではボランティアは受け入れていないが、近隣の二つの中学校の生徒の職業体験の依頼を受け入れている。<br>・しかし受け入れ手順を文書化したマニュアルは整備されていない。<br>・感染症ほかの事故が懸念されるので中学校との取り決め事項を記載した覚書などを取り交わすことなど体制整備をすることが望まれる。                             |      |
| Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。    |           |                                                                                                                                                                                     |      |
| 25                           | Ⅱ-4-(2)-① | 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。                                                                                                                                             | b    |
|                              | (コメント)    | ・園では発達障がい児の対応について市の担当者や障がい専門機関と密に連絡を取り相談したり、助言をもらっている。<br>・園では虐待が疑われるようなケースが見受けられたら園長が速やかに市の担当者に報告し、児童相談所に相談する体制になっている。<br>・園長は、連携すべき関係機関は承知しているが、職員や保護者もすぐにわかるような一覧のリストを整備することを望む。 |      |
| Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。 |           |                                                                                                                                                                                     |      |
| 26                           | Ⅱ-4-(3)-① | 保育所が有する機能を地域に還元している。                                                                                                                                                                | c    |
|                              | (コメント)    | ・園は施設の狭さを補う意味で、入居している集合住宅の集会室を借用するなど地域との交流を行い、また地域の子育て中の保護者のための養育相談を受ける機会を職員と共につくる工夫を望む。                                                                                            |      |
| 27                           | Ⅱ-4-(3)-② | 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。                                                                                                                                                      | c    |
|                              | (コメント)    | ・園長は、市の民間保育園連絡会や民生委員などから地域の福祉ニーズの把握に努めているが、地域のための養育相談会を開くなど公益的な事業を実施することも望む。                                                                                                        |      |

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

|                                             |           |                                                                                                                                                                                                                                  | 評価結果 |
|---------------------------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス                            |           |                                                                                                                                                                                                                                  |      |
| Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。                 |           |                                                                                                                                                                                                                                  |      |
| 28                                          | Ⅲ-1-(1)-① | 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。                                                                                                                                                                                               | b    |
|                                             | (コメント)    | ・園の理念・方針・目標に子どもを尊重する姿勢が読み取れ、保護者には入園説明会で、職員には入職時本部研修などで周知を図っている。<br>・今後園独自の保育マニュアル、手順書などを作成され、子どもを尊重する園の姿勢が読み取れる保育マニュアルも作成し、職員が共通した保育ができる取り組みを期待する。                                                                               |      |
| 29                                          | Ⅲ-1-(1)-② | 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。                                                                                                                                                                                                | b    |
|                                             | (コメント)    | ・園長は、職員会議などで園児のプライバシーや虐待防止を議題に取り上げて職員に注意を喚起している。<br>・職員は、水遊び時の服装や着替え時などでプライバシーに配慮した保育を心掛けている。<br>・園の就業規則には、園児のプライバシー保護や虐待防止等の規定が見当たらないので服務規程の中に明示し、職員に周知徹底することを望む。<br>・保護者に対しても重要事項説明書にプライバシー保護・虐待防止などの園の姿勢を明示して入園説明会で説明することを望む。 |      |
| Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。 |           |                                                                                                                                                                                                                                  |      |
| 30                                          | Ⅲ-1-(2)-① | 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。                                                                                                                                                                                                 | a    |
|                                             | (コメント)    | ・園の保育の理念・基本方針・目標が記載された案内パンフレットを市役所の担当部署に置いて問い合わせの保護者に提供している。また、法人のホームページにも記載されているので広く入園希望者に情報を提供している。<br>・園長は、見学希望者に対して案内パンフレットを使って丁寧に説明して保育所選択に供している。                                                                           |      |
| 31                                          | Ⅲ-1-(2)-② | 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。                                                                                                                                                                                                   | b    |
|                                             | (コメント)    | ・園では入園事前説明会で「入園のしおり」を配付して、保護者等にわかりやすく説明している。変更時には園だよりで保護者に事前に周知を図っている。<br>・「入園のしおり」に個人情報保護、虐待防止の対応や苦情対応の体制などの記載が無いので明記し、保護者に説明することが望まれる。                                                                                         |      |
| 32                                          | Ⅲ-1-(2)-③ | 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。                                                                                                                                                                                                  | b    |
|                                             | (コメント)    | ・園長は、園児の卒園・転園先からの問い合わせについてはその都度対応しているとされているが、卒園・転園時に保護者に定められた引継ぎ文書を渡していない。<br>・園長は園としての卒園・転園時の手順を定めたマニュアルと引継ぎ文書を作成することを望む。                                                                                                       |      |

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 33                                        | Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。                                                                                                                                                                                                                                                                            | b |
|                                           | (コメント) <ul style="list-style-type: none"><li>・園には保護者会はないが、年に3回土曜日に保育参観を行ったり、個人懇談会を開催して保護者の意見や相談を受ける機会を設けている。</li><li>・園長は受けた意見や相談に対し対処した改善策等を記録し、職員間で共有して保護者満足の更なる向上を目指すことを望む。</li><li>・園では、9月の「ポップ祭り」やクリスマス会の時に保護者にアンケート調査を実施し意見を聞いて次の行事の内容に反映するようにしている。</li></ul>                                                  |   |
| Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 34                                        | Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。                                                                                                                                                                                                                                                                                 | b |
|                                           | (コメント) <ul style="list-style-type: none"><li>・苦情解決の仕組みは整備されていなかったが、保護者と綿密に関わる中で特に苦情と認識する事例も起こらず運営されてきた。今回の第三者評価のアンケートの回答も、良好な関係が伺えるものが多くあった。</li><li>・園長を窓口、必要な場合は職員会議で議論し、対応にあたっている。</li><li>・今後は、入園のしおりや保護者に配付する手紙・書類等で、苦情解決の仕組みについて説明し、保護者が苦情を申し出る窓口や第三者委員（12月1日から依頼）の告示を行い、体制の整備と方途を整えていく今後の取り組みに期待する。</li></ul> |   |
| 35                                        | Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。                                                                                                                                                                                                                                                                         | b |
|                                           | (コメント) <ul style="list-style-type: none"><li>・意見箱は玄関に設置されているが利用されていない。直接園長や担任に話されることが多い。また、行事ごとに保護者の意見を求める簡単なアンケート等の取組は行われ、保護者に結果を伝えることは実施されている。</li><li>・入園のしおり等の書類で保護者に知らせて、保護者が意見を述べやすい環境の整備までは至っておらず、周知での取組み不足が見受けられた。</li><li>・今後は、保護者に配付する書類等に明記し、より保護者が意見を述べやすい体制の整備を望む。</li></ul>                            |   |
| 36                                        | Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。                                                                                                                                                                                                                                                                            | b |
|                                           | (コメント) <ul style="list-style-type: none"><li>・保護者からの意見は、園長に直接話されたり、担任に伝えられたりすることが多く、園長と担任、保護者で話し合い問題解決を図り、必要に応じて職員会議等で周知し問題の迅速な解決に努力している。</li><li>・今後は、相談内容を記録に残し、必要に応じて全職員の参画のもと協議し、保育の向上に役立てるような組織的な取組を期待する。</li></ul>                                                                                             |   |
| Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 37                                        | Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。                                                                                                                                                                                                                                                                  | b |
|                                           | (コメント) <ul style="list-style-type: none"><li>・ヒヤリハットの報告は綿密に行われ、改善についての取組についても明記されており、職員間で共有化され、安全に対する取組は行われている。</li><li>・リスクに対する検証と事故を未然に防ぐための取組の強化と、ヒヤリハットの内容を分析し組織的に園長を責任者とするリスクマネジメント体制を整備し、今後の取組に向けた体制づくりを望む。</li></ul>                                                                                          |   |

|    |           |                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
|----|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 38 | Ⅲ-1-(5)-② | 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。                                                                                                                                                                                                              | b |
|    | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症に対しては市の情報を一早く収集し、園内で発生した場合は、ボードに掲示し、口頭でも伝達を行うなど綿密に予防や発生時の対応は行われている。</li> <li>・今後は、責任と役割を明確にした体制の整備を行い文書化し、現在職員トイレに掲示されている正しい手の洗い方などのように、保育室内や手洗い場など身近な場所でのマニュアルの掲示とともに、全員が対応できるようなスキルアップと取組を望みたい。</li> </ul> |   |
| 39 | Ⅲ-1-(5)-③ | 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。                                                                                                                                                                                                                        | b |
|    | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月色々な想定（地震発生・火災・不審者侵入等）での避難の実施し、消火訓練など、消防署よりの指導を次の避難訓練に活かすなどの取組は進められ、食料の備蓄や非常持ち出し袋の整備は行われている。</li> <li>・今後は危機管理マニュアルに規定されていることを職員に周知し、体制の確認と役割分担を明確にした取組を期待したい。</li> </ul>                                      |   |

|                                         |           |                                                                                                                                                                                                                | 評価結果 |
|-----------------------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保                         |           |                                                                                                                                                                                                                |      |
| Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。     |           |                                                                                                                                                                                                                |      |
| 40                                      | Ⅲ-2-(1)-① | 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。                                                                                                                                                                                | b    |
|                                         | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育経験者が多数を占める中で、経験に基づいて暗黙の了解で進められている。</li> <li>・ベテラン保育士が多数いても、保育の方法を文書化することは保育の質の確保に不可欠であり、実施方法の体系的な見直しと文書化を望む。</li> </ul>                                              |      |
| 41                                      | Ⅲ-2-(1)-② | 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。                                                                                                                                                                                  | a    |
|                                         | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育課程に基づき、年度末に必要な見直しは毎年行われている。年齢別の保育計画も立案され、毎月見直しと次への計画は話合われており、また、時期に応じた手順の変更や衛生管理の見直しなどはその都度確認し取り組まれている。</li> <li>・個別の指導計画も綿密に立てられおり、毎月の見直しと次への立案が進められている。</li> </ul> |      |
| Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。 |           |                                                                                                                                                                                                                |      |
| 42                                      | Ⅲ-2-(2)-① | アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。                                                                                                                                                                                     | b    |
|                                         | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の策定責任者は園長であり、入園前の面談記録を基に一人ひとりの指導計画を策定している。</li> <li>・組織的な取組を実施しているにも関わらず、職員の認識が浅く、体制の整備と職員への周知などを、園全体での取組みであることへの認識を求めたい。</li> </ul>                               |      |
| 43                                      | Ⅲ-2-(2)-② | 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。                                                                                                                                                                                         | b    |
|                                         | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画は、主に主任が担っており、最終責任者は園長であることは、理解されているが、定期的な評価や見直しが位置づけられておらず、今後は、職員会議やクラス会議等で、検討見直しが定期的にされることを望む。</li> </ul>                                                         |      |

|                                |           |                                                                                                                                                            |   |
|--------------------------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。 |           |                                                                                                                                                            |   |
| 44                             | Ⅲ-2-(3)-① | 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。                                                                                                                     | a |
|                                | (コメント)    | ・保育記録は保育日誌、週案等にも丁寧に記載されている。また、児童原簿に個人の記録は記載され、子ども達の成長とともに必要に応じて職員会議等で話し合われ、全職員で共有されている。                                                                    |   |
| 45                             | Ⅲ-2-(3)-② | 子どもに関する記録の管理体制が確立している。                                                                                                                                     | b |
|                                | (コメント)    | ・児童原簿等の記録は、丁寧にとられて、指導計画に活かされるように記録管理されている。<br>・過去の記録類は、収納庫に保管され管理は園長が行っている。<br>・ただし、保管場所に関しては、書庫に収められており、今後は鍵のかかるキャビネット等に保管し個人情報漏洩に関する規定を策定し、記録の管理の適正化を望む。 |   |

## 児童福祉分野【保育所】の内容評価基準

|                                |           |                                                                                                                                                                                                                                                                         | 評価結果 |
|--------------------------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| A－1 保育内容                       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |
| A－1－（１） 保育課程の編成                |           |                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |
| A①                             | A-1-（１）-① | 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。                                                                                                                                                                                                                 | b    |
|                                | （コメント）    | ・保育課程は、法人、保育理念や保育方針、保育目標に基づき、子どもの成長に合わせて編成されている。現在の保育課程は全体計画として園長が編成したものを職員に知らせ周知されて年齢別の編成もなされている。<br>・年齢別の指導計画は、職員が立案している。さらに保育課程の見直しと検討にも参画されることを望む。                                                                                                                  |      |
| A－1－（２） 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 |           |                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |
| A②                             | A-1-（２）-① | 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。                                                                                                                                                                                                                                | b    |
|                                | （コメント）    | ・毎朝の衛生管理や清掃活動などは丁寧に実施されている。また、狭い園内を効率的に活用しているが、必要なものと季節的なものや成長段階に合わせた遊具などの整理確認し、収納方法を工夫してより安全快適な空間になるよう整備されることを望む。<br>・安全点検確認表等を作成して、清掃の当番や手順等を確認実施できる方策を構築されることを望む。                                                                                                    |      |
| A③                             | A-1-（２）-② | 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。                                                                                                                                                                                                                                       | a    |
|                                | （コメント）    | ・年齢が小さいことを配慮し、優しい言葉かけと子どもの思いを組み取る努力をし、優しく誘いかけを行い子どもの一人ひとりへの対応に努めている。（園外に出るかどうかなど子どもの思いを聞き、無理なく過ごせるように職員間で連携している）<br>・制止する言葉でなく、子どものやりたい気持ちへつなげる言葉かけを心がけており、保育士の都合で子どもの生活が左右されることなく保育が進むように人的配置も考えて取り組まれている。                                                             |      |
| A④                             | A-1-（２）-③ | 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。                                                                                                                                                                                                                                 | b    |
|                                | （コメント）    | ・子どもの生活をしっかり把握し子どもがやりたくなるような言葉かけを心掛けて、やる気が起こるように取組を進めている。<br>・歯磨き指導も、6月に実施された歯科衛生士からの歯磨き指導をきっかけに取り組みを開始したり、就寝時刻遅い子どもに対しても、家庭の状況を踏まえて徐々に改善されるように取組を進めている。<br>徐々に成果は上がってきているので、今後も子ども達への働きかけを継続されることを望む。                                                                  |      |
| A⑤                             | A-1-（２）-④ | 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。                                                                                                                                                                                                                           | a    |
|                                | （コメント）    | ・子どもが自ら遊びたくなるような手作りの遊具等を準備し、子どもの遊ぶ姿に合わせて、遊具の配置を工夫している。<br>・窓から園外の電車や車などが眺められる保育室であり、子どもが安全に過ごせるように仕切りなども手作りで設置され、楽しく遊べる空間が確保されている。<br>・園庭は無いが、マンション内の設備（中庭部や広めのたたきの部分で遊ぶ等）を所有者の理解を得て活用し、公園等にも積極的に出かけて、戸外の活動も豊富に経験できるように努めている。出かけていく公園の草刈りなども職員で行い、外部の環境の整備にも積極的に関わっている。 |      |

|    |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
|----|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| A⑥ | A-1-(2)-⑤ | 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                                                                                                                                                                                                                                                                                  | a |
|    | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・4名の該当児に対して2名の保育士が担当し、手厚い保育に努めている。子どもの状態に合わせて、ベットや座椅子を活用し、子どもの発達状態に合わせて環境の整備が行われている。</li> <li>・昼寝時に不安感の為に眠れない子どもには、保育士が抱いてその子の安定と眠りの保障が出来るように対応している。</li> <li>・職員、保護者は連絡帳で家庭の様子、園での様子をお互いに確認している。</li> </ul>                                                                                        |   |
| A⑦ | A-1-(2)-⑥ | 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                                                                                                                                                                                                                                                                            | a |
|    | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室内を有効活用し、年齢や季節に配慮しながら手作りの遊具等を準備し、保育を進めている。</li> <li>・室内には子どもの制作物も展示され、子どもが安心してまた、意欲を持って生活できるような場を工夫している。</li> <li>・一人ひとりの保護者に連絡帳を活用して園での生活を丁寧に伝え、保護者に安心してもらえるような保育の展開に努めている。</li> <li>・園庭の補完として、建物内の中庭等を所有者の理解を得て夏季の水遊びや戸外活動に利用している。また、天気の良い日には通行路の安全に配慮しながら近隣の公園に出かけて、外遊びの充実にも努めている。</li> </ul> |   |
| A⑧ | A-1-(2)-⑦ | 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                                                                                                                                                                                                                                                                                   | — |
|    | (コメント)    | 非該当                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| A⑨ | A-1-(2)-⑧ | 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | b |
|    | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある子どもへの対応は、配慮を要する子どもも含め、園の努力で加配対応を行い、その子にあった保育の在り方を求めて努力している。</li> <li>・保護者との関係でまだ認知できていない保護者へのアプローチに苦慮しているが、今後とも、子どもの発育をもとに話し合いを深めることを望む。同じ目標に立った保育の推進に努力を望みたい。</li> <li>・さらに障がい児に対する研修を深め、療育機関との連携を期待する。</li> </ul>                                                                          |   |
| A⑩ | A-1-(2)-⑨ | 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | b |
|    | (コメント)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間の子ども達への対応は、降園時間の確認とともに、伝達事項を担当者に伝え、対応を密に行っている。</li> <li>・長時間児は、人数も少ないが、引継ぎノートやボード等を準備し家族との連携を密にしたより正確で円滑な取組を望む。</li> <li>・長時間児に対する配慮を再検討し、給食量での対応と共に補食等も検討するなど保育内容に対する取組を期待する。</li> </ul>                                                                                                       |   |
| A⑪ | A-1-(2)-⑩ | 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。                                                                                                                                                                                                                                                                                            | — |
|    | (コメント)    | 非該当                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| A-1-(3) 健康管理 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| A⑫           | A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | b |
|              | (コメント) <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理マニュアルは整備されていないが、保健計画策定をし子どもの健康状態は保護者に知らせて発育の状況を共有している。</li> <li>・健康に関する情報提供を園だより等で行い、SIDS（乳幼児突然死症候群）チェックを5分ごとに行って予防に努めている。</li> <li>・健康管理マニュアルを整備し、健康管理を積極的に行う努力を求めたい。</li> </ul>                                                                                                                          |   |
| A⑬           | A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | a |
|              | (コメント) <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の内科検診、1回の歯科検視を実施している。</li> <li>・保護者に健診結果を統一の用紙で全員に配付し、罹患している場合は、医師への受診を促し、早期の治癒に理解を求めている。</li> <li>・健診の際には保育士が傍で付き添い、その子の状態に合わせて補助している。健診結果は、児童原簿にも記載され、必要に応じて職員も共有して保育にあたっている。</li> </ul>                                                                                                                  |   |
| A⑭           | A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | b |
|              | (コメント) <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の指示書を基に、アレルギー食は別のトレーとし誤食防止を行っている。</li> <li>・除去食（牛乳と卵）の給食提供を行いアレルギーの対応を行っている。また、牛乳に触れるとアレルギーになる園児の対応に、他の保護者に説明して豆乳への変更などを検討するなど、園で出来る取組を進めている。</li> <li>・アレルギー対応へのマニュアルを整備し職員への周知徹底と、複数チェックを徹底し、誤飲誤食の無いように一層の努力を望む。</li> </ul>                                                                                |   |
| A-1-(4) 食事   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| A⑮           | A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | a |
|              | (コメント) <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前の面談とともに嗜好調査を行い、子どもの家庭での食生活の様子を把握し、給食提供の参考にしている。</li> <li>・食事をする場所と午睡の場所を別に確保し、その子の状態に合わせてゆっくりと食事ができるように努めている。（眠くなってきて泣いてしまう子にも、じっくり関り、その子が食事をしたくなるように言葉かけを行い、食事の提供をしている。また、みんなと同じ場所で食事することが困難な子どもには、別の場所を提供し保育士が見守る中で食事をしている。）</li> <li>・自分で食べられない子どもには、保育士がやさしく言葉かけしながら食事支援し食への興味を引き出すように努めている。</li> </ul> |   |
| A⑯           | A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | a |
|              | (コメント) <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの食事の量を適切に把握し、信頼できる法人の共通食材提供業者から献立の提供を受け栄養士と協議の上提供している。</li> <li>・食材の管理は栄養士が中心になり、安全な管理とおいしい食事の提供に努めている。</li> <li>・七夕そうめんやツリー型のご飯の盛り付けなど子どもの心に添った行事食を工夫して提供している。</li> </ul>                                                                                                                                |   |

|                   |                                                                                                                                                                                                                                                                           | 評価結果 |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| A-2 子育て支援         |                                                                                                                                                                                                                                                                           |      |
| A-2-(1) 家庭との緊密な連携 |                                                                                                                                                                                                                                                                           |      |
| A⑰                | A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。                                                                                                                                                                                                                                   | a    |
|                   | (コメント) <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児なので、全員連絡ノートを持ち、日々の保育所の生活を家庭に伝えている。保護者によっては情報の少ない家庭もあるが丁寧に聞き取りを行うことで、家庭との連携を深めている。日常の些細な変化を気にとめ報告が必要な場合は、必ず伝えている。</li> </ul>                                                                                              |      |
| A-2-(2) 保護者等の支援   |                                                                                                                                                                                                                                                                           |      |
| A⑱                | A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。                                                                                                                                                                                                                                      | b    |
|                   | (コメント) <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が安心して子育てできるように、個々の家庭や保護者の就労状況を把握し、発熱時にも、第1次報告（今はこの状態であるが、今後発熱が進むようならお迎えをお願いします）第2次報告でお迎えに来てもらうような体制を組み保護者も仕事の都合をつけやすくなっているなど、保護者の気持ちに寄り添った支援を行っている。</li> <li>・職員の情報共有を大切し、間違いのない連絡を目指し保護者からの相談内容を記録に残すことを望む。</li> </ul> |      |
| A⑲                | A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。                                                                                                                                                                                                                    | b    |
|                   | (コメント) <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ時や着替えの際に子どもの身体状態を丁寧に観察し、虐待の早期発見に努め、行政との連絡を密に行い早期対応に努めている。</li> <li>・虐待の予防の為に、保護者としっかり話し合い、虐待に繋がらないための努力を今後も続けられたい。</li> <li>・虐待防止のマニュアルを整備し、職員に周知徹底し、研修を深めていく中で、より一層の虐待の予防に努められたい。</li> </ul>                          |      |

|                              |                                                                                                                                                                                                                                                        | 評価結果 |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| A-3 保育の質の向上                  |                                                                                                                                                                                                                                                        |      |
| A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価） |                                                                                                                                                                                                                                                        |      |
| A⑳                           | A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。                                                                                                                                                                                            | b    |
|                              | (コメント) <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士は年3回の自己評価表で保育の振り返りを行い、保育の専門性に関する研修等にも積極的に参加し、自己の保育の向上に努めている。</li> <li>・正職と非常勤の職員の研修や保育の振り返り等には差があり、今後は、その差を埋めるための対応を望みたい。</li> <li>・研修内容は園全体で共有する体制が確立されている。今後、園全体での保育実践に努められ更なる取組に期待したい。</li> </ul> |      |

|                     |                                                                                                                               | 評価結果 |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| A-4 子どもの発達・生活援助     |                                                                                                                               |      |
| A-4-(1) 子どもの発達・生活援助 |                                                                                                                               |      |
| A㉑                  | A-4-(1)-① 体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取組んでいる。                                                                              | b    |
|                     | (コメント) <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営規定に体罰に関する詳しい規定がされ、それに基づいた研修等も実施されているが、就業規則への記載がなく、今後は就業規則への掲載を望む。</li> </ul> |      |

## 利用者(保護者)への聞き取り等の結果

### 調査の概要

|        |                                                                                                    |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象者  | 箕面ポッポ保育園を利用中の子どもの保護者                                                                               |
| 調査対象者数 | 34世帯中23世帯                                                                                          |
| 調査方法   | アンケート調査による。(アンケート用紙は、保育園に依頼し保護者に受取人払いの封筒を添えて直接手渡し、回収は保育園に設置した回収箱への投入、または郵便で評価機関へ直接返送してもらう方法を採用した。) |

### 利用者への聞き取り等の結果(概要)

箕面ポッポ保育園を利用している子どもの保護者34世帯に対して、1世帯1アンケート用紙を配付したうち、23通を回収した。回収率は67.6%であった。

○満足度100%の項目は下記の6項目であった。

- ・保育園に入園した際に、保育の内容や方法について、説明がありましたか。
- ・入園後も、保育園やクラスの様子などについて、「園だより」、「クラスだより」等を通じて判りやすく伝えられていますか。
- ・健康診断の結果について、園から伝えられていますか。
- ・献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容が分かるようになっていきますか。
- ・お子さんの給食の食べ具合は、必要に応じて連絡されていますか。
- ・懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか。

○満足度90%以上の項目は下記の5項目であった。

- ・保育園の理念や方針について、園から説明がありましたか。
- ・入園時の説明や、園の子どもたちの様子を見て、子どもを預けることの不安が軽減しましたか。
- ・園内で感染症が発生した際には、その状況について必要に応じて連絡がありますか。
- ・給食のメニューは、充実していますか。
- ・送迎時の保育士との話や連絡帳などを通じて、園や家庭での子どもの様子について情報交換がされていますか。

○自由回答欄の意見

- ・本当の家族のようなあたたかい雰囲気がある。
- ・先生方がとても暖かく、子どもをしっかりと見てくださっている安心感がある。
- ・個々の個性や発達に合わせた、きめ細かい保育・支援ができています。
- ・お友達とのやり取りや、その日の出来事(子ども同士のけんかやひっかき傷)があれば知らせてほしい。
- ・子供たちが画いたり、作ったりした作品を作品展として展示して欲しい。
- ・日頃の様子を写真に撮って欲しい。

## 福祉サービス第三者評価結果報告書【受審施設・事業所情報】 における項目の定義等について

### ①【職員・従業員数】

●以下の項目について、雇用形態（施設・事業所における呼称による分類）による区分で記載しています。

▶正規の職員・従業員

・一般職員や正社員などと呼ばれている人の人数。

▶非正規の職員・従業員

・パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託などと呼ばれている人の人数。

### ②【専門職員】

●社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、訪問介護員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、社会福祉主事、医師、薬剤師、看護師、准看護師、保健師、栄養士等の福祉・保健・医療に関するものについて、専門職名及びその人数を記載しています。

### ③【施設・設備の概要】

●施設・設備の概要（居室の種類、その数及び居室以外の設備等の種類、その数）について記載しています。特に、特徴的なもの、施設・事業所が利用される方等にアピールしたい居室及び設備等を優先的に記載しています。併せて、【施設・事業所の特徴的な取組】の欄にも記載している場合があります。

|     | 例                                                               |
|-----|-----------------------------------------------------------------|
| 居室  | ●個室、2人部屋、3人部屋、4人部屋 等                                            |
| 設備等 | ●保育室（0才児、1才児、2才児、3才児、4才児、5才児）、調乳室、洗面室、浴室、調理室、更衣室、医務室、機能訓練室、講堂 等 |